

令和6年度 石橋北小学校 第2回学校運営協議会議事録

令和6年12月12日(木)10:35

於 校長室

【本日参加者】12名

・学校運営協議会委員(9名)

大塩 宗里 青柳 庄一 竹内 美千子 齋藤 司朗 野口 文夫

寺内 利之 齋藤 幸紀 橋本 織 齋藤 佳代子校長

・地域学校協働活動推進委員 熊倉 博美

・事務局 五月女 穰教頭 澤田 貴典教務主任

【欠席者】1名 金久保 貴子(地域連携教員)

(敬称略)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1.日程確認 | 10:35~10:40(校長室) |
| 2.協議 | 10:40~11:15(校長室) |
| 3.行事(持久走記録会)参観 | 11:15~12:00(校庭) |
| 4.給食試食会 | 12:00~12:45(校長室) |

協議開会

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 協議内容等(進行・・・会長)
 - (1)石橋北小の教育について
 - ・授業及び今年度の様子、これまでの取組
 - ・学校運営上の課題
 - (2)学校評価について(学校評価の項目、評価方法等)
 - (3)質疑
 - (4)その他

10:39

協議(1) ☆石橋北小の教育について…パソコン・テレビによる資料提示

校長

それでは、学校の様子、子どもたちの様子についてお話をさせていただきます。

まずはじめに、本年度4月に実施されました、学習状況調査の結果からお話いたします。

こちらは、4年生のとちぎっ子学習状況調査です。栃木県単位で行われる悉皆の調査です。青が、本校平均で、赤が県平均です。全教科とも達成率が高いです。

こちらは、5年生です。理科の達成状況が、高いです。算数が、少し下回っています。

次は、6年生の全国学力・学習状況調査の結果です。こちらは、全国規模で行われる調査です。青が、本校平均、赤が県平均、緑は全国平均です。国語はほぼ平均ですが、算数が少し下回っています。

ここからは、児童への質問紙調査の結果です。本校児童の特徴が見られる質問についてご紹介します。グラフは、各質問とも、大変できている、とほぼできているの合計でまとめてあります。

各学年とも朝食は毎日食べる習慣がついています。

就寝時間もほぼ守られていて、規則正しい習慣が見とれます。

自分にはよいところがあると感じており、自己有用感が高い児童が多いです。これは、様々な取組を自信をもって、行えるとても大切な点です。

周りの友だちへ思いやりをもって接している児童が多いです。

地域や郷土に関心をもっており、地域に目が向いている児童が多いです。

話合いを通して、自分の考えを深めたり、広げたりできており、5年生の100パーセントは、昨年4年生の時より、伸びています。今後も、授業で学び合いを進めていきたいと思えます。

自主的、自発的な発言には、あまり自信が無い様子です。しかし、5年生は、昨年度の4年生より、できるようになった児童が増えています。

最後まであきらめずに取り組むことは、昨年度よりもよくできています。本校の当たり前の取組の3A運動の一つであり、日頃から育成に力を入れています。

こちらは、平日、1日3時間以上ゲームをしている子です。5年生に少し多い様子が見られます。

こちらは、平日3時間以上携帯やスマートフォンで、SNSや動画視聴している児童です。こちらにも、5年生に多い結果がでています。

この数字は何だと思えますか。50%は、本校児童の自分のスマートフォン携帯の所持率です。

80.7%は、ゲーム機の所持率です。どちらも、かなり高い数値です。本校独自で、アンケートをした結果です。

こちらにも、本校独自のアンケートです。本校の全児童の平日の1日に動画を見たりゲームをしたりする時間です。3時間や4時間以上が全体の約4分の1です。

こちらは、休日の一日の様子です。4時間以上の方が、平日より、約4倍に増えます。3時間と4時間以上の児童が、全体の約44パーセントにもなります。

こちらは、下野新聞の記事です。SNSや動画視聴時間が長い子ほど、全国学力テストの成績が低下しているという記事です。今、一人一台の学習用端末が貸し出されているので、子どもたちには、ネット利用がかなり身近になってきています。使い方や利用時間の約束などを保護者と話し合う必要があると思えます。

タブレットやスマートフォン依存症のような傾向のお子さんもあります。授業で、情報モラル教育について継続して指導していきたいと思えます。

全国学力テストやとちぎっ子学習状況調査の結果を受けて、教職員は、結果の分析や課題解決案を考察し、授業で手立てを実践します。授業力、指導力のアップを目指して、校内研修の充実も図っています。いつまでも変わらない本質的な物を大切にしながらも、新しい変化も取り入れる不易流行のバランスをとりながら進めています。

こちらは、文部科学省からの資料です。「学校・教師が担う業務に係る3分類」で、教師の働き方改革の視点で、様々な業務の役割分担や適正化を推進しているものです。左から、「学校以外が担うべき業務」、「必ずしも教師が担う必要のない業務」、「負担軽減が可能な業務」となっています。①～⑭について具体的に、どのような解決方法があるか例が示され、全国の学校での実践例も紹介されています。ここにあげている①登下校に関する対応では、本校は、約20年前から、スクールガードボランティアさんにご協力いただいています。その素晴らしい活動が今年認められました。こちらは、栃木県教育委員会からの感謝状です。また、こちらは、福田栃木県知事からの、表彰状です。どちらも大変重みのある表彰です。おかげさまで、子どもたちは毎日安心・安全に登下校できます。大きな支えとなっていただいています。

令和7年度に向けて動き出した点についてお話いたします。石北小の全校児童数が来年度は155名となり全学年が単学級になります。そこで、本年度、PTA組織・運営の改革を進めてきました。

PTAを見直す会を立ち上げ、検討してくださいました。PTA運営委員とPTA運営サポーターを募り、新たな組織を作りました。PTA会員全員が、活動できるときに、やりたい活動に参加するボランティア制に変更しました。11月29日の臨時PTA総会で承認されました。本日お配りしました資料に新しい組織の紹介があります。

また、スマートインターチェンジの建設工事の影響で、若林南の通学路が12月下旬より変更になります。

また、学校農園の活用の検討など、何か運用にいいお知恵があればご紹介ください。

中学校では、部活動の地域移行が始まりました。こちらも本日の配布資料をご覧ください。

ここからは、最近の子どもたちの様子をご紹介します。
(スライド写真にて説明)

「子どもたちが、明るく、元気で、学校へ来るのが楽しい！」

そんな学校づくりを目指しています。本校の子どもたちは学習も生活も、まだまだ伸びる力を備えています。

「認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくり」に努め、学校と家庭、地域が同じ方向を向き、お互いに協力し合い、子どもたちを育てていくことが大切であると考えております。今後ともよろしく願いたします。

10:55

協議(2) ☆学校評価について

教頭 現在、集計している段階です。昨年度と内容は変わっておりません。石橋中学校区内で同じ内容・項目となっておりますので、地区内、また昨年度と比較しながら次の学校運営協議会で結果を示したいと考えておりますので、少々お待ちいただければと思います。今回、評価方法は「すぐーる」という保護者に送ることのできるメールで実施しました。

10:57

校長 資料の方で先ほど触れましたが、PTAの方で「見直す会」という組織を立ち上げていただいて、その中のお一人として〇〇委員さんにも入っていただいております。令和7年度から新体制で進めていこうということなのですが、〇〇委員さんから何かご紹介等ありますか。

委員 今、ご紹介いただきましたが、昨年度までPTA会長をやらせていただいております。今後、全学年一クラスになっていくという見通しで、今の形のPTAの組織が正しいのかという所から皆さんを巻き込ませてもらうという形で話をさせていただきました。今日出席している△△委員さんも見直す会のメンバーになっていただき、執行部とは別に有志で集まってくださった方々で、すぐーるを活用しながら問題提起や話し合いを行いました。PTA会員にアンケートに答えていただき、それを基に新組織を作り直したという形で、本当に手探りではありましたが、執行部や学校とも連絡を密に取り合い、他校の例も参考にしながら決めさせていただきました。コロナを経て、PTAに対する保護者の考え方も変わってきている部分もあり、基本スタンスとして、「やらされる」というより、「ボランティア」という形を採用しました。協力できる方が協力できる時にやっていただくというスタンスを中心に考えました。これが完全な形かどうかは、これからになってくると思いますので、私は現在PTA顧問という立場でありますので、今後この形がうまく進んでいくように見守っていきたいと思います。皆様方にもいろいろな所でご協力いただく場面があるかもしれませんので、ぜひ見守っていただければと思います。

校長 PTA総会でも承認いただきまして、来年度から新しい体制で進めさせていただくということです。

地域のボランティアという形が、今までに築いてくださったものがあるので、その形でも石北小だったらやっていけるだろうなというイメージでこのようなスタイルで進めていこうという形になりました。

教頭 △△委員さんPTA関係で何かありますか。

委員 大きな違いとしては、今までは保護者は一人一回は必ず役をやらなければならないということがありました。やりたくないものをやらされたりとか、上の子が受験であ

るとか下の子が生まれたばかりであるという状況であっても仕事につかなければならないということがあり、いやいややっている人が増えてしまうので、それらを一旦なしにして、ボランティア制度への募集を呼びかけ、その時にできる人ができる範囲で手を挙げてもらうということに変わりました。

校長 ありがとうございます。今の説明で何かございますか。

会長 今までPTA活動に関しては問題点が多いなということ、あちこちから話を聞いていましたが、この体制になりますとPTA活動というものがボランティアになるということですね。PTAという名前はそのまま残っていくということでしょうか。

委員 はい。今のところは。

会長 内容だけがボランティア制に変わっていくということですね。

委員 その場合、都度都度募集をしますので、例えば学校側が緊急で何か手伝ってほしいことがある際に、それを執行部にこういうお手伝いが急遽欲しいと伝えることで、急な対応もできるようになります。今までは年間計画に入っていないものでもすぐに対応できるようになります。今の現状として、コロナでバザーのようなものがなくなったり、PTAの仕事が縮小されていて、今現在もほとんどボランティアで回っていることが多いです。今日の持久走記録会の見守りも、PTAの委員会や役員の仕事ではなく、ボランティアを募集してやっています。

委員 私たちもPTAを経験しましたが、もう一昔も二昔も前の話になってしまっていますが、PTAの活動の形はそんなに変わってはいないと思います。感覚的なものや価値観は大きく変わっているような気がします。ボランティアは昔からボランティアだったので、PTAは親が子どもたちが学校で世話になっているという形で始まったのだと思います。自らもって積極性があったと思います。今はPTAも忙しく、なかなか思い切ったことができないのだと思います。今はいろいろなことが増えすぎてしまって、幅が広がってしまっているのだと思います。昔はもう少し単純さがあったような気がします。昔は俺らの学校という地域の人の思いがありました。今はシステムなどが変わってきて、学校とのつながりが離れていくような状況になってしまっていて、心の中でいろいろな葛藤があります。見直す会のようなものが立ち上がったのは大変よいことだと思います。地域にも声を掛けていただき、地域全体で支えていきたいと思っています。

校長 非常にありがたいです。ボランティアとして、保護者・PTAだけではなくて地域の方々にも入っていただけると、本当にありがたいので、ぜひそんな時はお声掛けします。

校長 こちらの資料(パンフレット)は、部活動も地域に移行していくという形で、下野市から出ている最新の資料となります。

11:08

協議(3) ☆質疑

委員 教師の働き方改革に関連しますが、下校時にスクールガードボランティア不在の際に教師が地元まで付き添ってくださる。これはかなりの負担であると思う。もう少しスクールガードボランティアを増やした方がいいと考えている。教師が付き添ってくださる姿を見ていると大変だなと感じる。自治会でもスクールガードボランティア募集をしているが、なかなか手が挙がらない。

教頭 地域に学校からお願いしますっていうことで、回覧板などを活用させてもらって募集するなどの手立ては考えられると思います。

委員 学校の方から要請があれば自治会長も頑張れます。

委員 宇都宮は報酬が出るらしいです。雀宮地区はお金が出ているらしいです。

委員 ポイント制なんです。

委員 お金ではなくても、何かメリッ的なものがあるといいかもしれません。何か見返りがあるといいかもしれません。

委員 自治会で相談してみましよう。

委員 PTAがボランティア制度に変更していくとなると、卓球やバスケットボールや野球などをPTAが承認した人が指導するようしていけば人を集めるのは容易になるのではないか。

会長 部活動の地域移行の進行状況はどんな感じなのでしょうか。
校長 なかなか受け皿がないことと、部活動の時間だけ指導していただく人材が見つからないということもあり、現在は石橋中の卓球部や南河二中のサッカー部のみの実施にとどまっており、市の方でも進めていかなければという話になっています。指導してくださる方がなかなか見つからないということです。石橋中の卓球部では、土日の練習では、中学生だけでなく小学生や大人も一緒にやっています。そういうのが理想のようです。市の方針では、まずは各校1つは始めましょうということになっています。

教頭 ボランティアでのPTA活動に関してのご意見はございますか。
※特になし

教頭 来年度の学校運営協議会の委員について引き続きお願いしたいと考えております。次回までに確認をさせていただきます。

地域学校 石北小のPTAは組織がしっかりしており、今までの実績を見ているとPTAのボランティアが集まる可能性は高いと感じる。他校ではなかなか集まらないのが現状である。スクールガードボランティアに関しては、行政にも話をしたい。

協議閉会